



生誕100年

・信楽町名誉町民40周年

# 岡本太郎と信楽展

TARO Okamoto



2011

11/1 火 ▶ 12/18 日

9:30-17:00 (入館は16:30まで)

滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館(月曜休館) 入場無料

主催/岡本太郎と信楽展実行委員会 滋賀県甲賀市信楽町長野1142 TEL 0748-82-2345

協力/財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団

後援/滋賀県 滋賀県教育委員会 甲賀市教育委員会 甲賀市観光協会 (社)びわこビジターズビューロー

MBC 大津放送局

BS びわ湖放送

radio

Station KBS京都 FM OSAKA FMB FM MIHO MUSEUM NEXCO西日本

協賛/ KIRIN キリンビール株式会社

第41回滋賀県芸術文化祭参加事業

生誕100年・信楽町名誉町民40周年

# 岡本太郎と信楽展

入場無料

絵画・彫刻・工芸など幅広いジャンルで、アヴァンギャルドな芸術活動を展開し、既成の概念や価値観に挑み続けた岡本太郎。その精神の根底を揺るがす自由で大胆な表現は、情報と物質が溢れ混迷を深める現代社会に、さまざまな示唆を与えています。1911年(明治44年)に生まれた岡本太郎は、今年で生誕100周年を迎えました。

また、信楽にとっても今年は、岡本太郎が日本万国博覧会の「太陽の塔」の背面のレリーフ「黒い太陽」を制作し、名誉町民となって40年となる記念すべき年にあたります。国立代々木競技場の陶板レリーフ(1964)を契機に、先の「黒い太陽」をはじめJR岡山駅「躍進」や大塚製薬ハイゼットタワー「いのち躍る」などの仕事を信楽で手掛けました。

信楽での岡本太郎の芸術活動が、滋賀の陶芸に与えた影響も少なくありません。岡本太郎に薫陶を受けた若者たちは、湖国を代表する陶芸家として活躍しています。本展では、信楽に現存する原型やマケット、ゆかりの陶芸家の作品などを紹介。信楽との関わりを地元の方々のコメントを交えながら整理し、その業績について再評価することを試みます。



岡本太郎作「躍進」の原画(サイズ1640x765x50mm)



写真：黒い太陽の中心部分製作の様子(写真提供：奥田博士)



写真：黒い太陽の顔制作風景(写真提供：奥田博士)

## 開催内容

- 万国博と信楽との関わり
- 信楽で製作されたレリーフのパネル展示
- 坐ることを拒否する椅子 展示
- ゆかりの陶芸作家の作品展
- 岡本太郎氏関連グッズ、書籍の販売

## 関連企画

### 岡本太郎に挑戦!

展覧会会場で配布されているマップにスタンプを押し、記載の陶芸教室にご持参下さい。

陶芸、絵付け体験ができます。(特典あり)



太陽の塔 ミニチュア 試作品  
(サイズ400x400x115mm)

## 陶芸館にて同時開催中

特別企画「陶芸を楽しむーグ・ル・メな やきものたち」

- 【会 期】平成23年6月30日(木)～12月11日(日)
- 【入場料】一般450円(360円)、高大生300円(250円)  
中学生以下無料 ( )内は20名以上の団体料金
- 【主 催】滋賀県立陶芸の森

お問合せ／岡本太郎と信楽展実行委員会  
滋賀県甲賀市信楽町長野1142  
TEL 0748-82-2345



### 陶芸の森までのご案内

- JR草津駅より草津線(貴生川駅下車)、貴生川駅より信楽高原鉄道(信楽駅下車)、徒歩約20分
- 信楽高原鉄道・信楽駅より甲賀市コミュニティバス(信楽高原バス)〔「陶芸の森」下車〕徒歩約5分
- JR石山駅より帝産湖南交通バス〔田上車庫行〕、田上車庫で「信楽行き」に乗り継ぎ〔「陶芸の森前」下車〕徒歩約8分
- タクシー：JR石山駅・瀬田駅の各駅より約45分、JR貴生川駅より約20分
- 自動車：新名神高速道路信楽I.C.から約8分
- 駐車場：普通車/約250台 大型バス/約10台

